

祝！高校卒業！

高校が一つの居場所になることで体調は徐々に回復していき卒業に必要な課題とスクーリングを無事に終わることができました。詳しくは述べないですが、私の同級生は不登校や非行で退学・編入してくる人が多かったです。一人ひとりが「自分」を持っていてとても個性が強いメンバーでした。時にはぶつかり合うこともありましたが、無事に皆で卒業できることがわかったときには大はしゃぎしました。このときに思ったのは、私だけでなく、ここにいる一人ひとりがつらい思いをたくさんしながらも今笑顔でいられることの幸せ。本当に幸せな時間で帰りにファミレスに行って皆でご飯を食べたのを鮮明に覚えています。

そして、無事に卒業式がやってきました。私にとって本当に特別な日でした。制服がないので初めてスーツを着て就活用のカバンを持って家を出ます。バスに乗っているとき、電車に乗っているとき、本当につらかったことを思い出し涙が止まらなくなりました。本当につらかった。全日制の学校でいじめにあって不登校になったこと、不登校になり空虚感が強くリストカットやオーバードーズをしたこと。けど、幸いにも私には母親や姉が話を聴いてくれ、児童精神科や通信制高校の先生が手厚くサポートしてくれた。それがあったから今がある。何か一つを成し遂げるには、様々な人からの協力が必要だということを痛感しながら学校に向かいました。男子は着なれないスーツ、女性はスーツやドレス姿で教室に集まりました。「やっと卒業だね!」。この言葉の重みは、ここにいる人でしかわからないものだと感じながらこの時間を楽しみました。

そして、いよいよ卒業式が始まりました。卒業式は、学校の教室を2つなげたくらいの決して大きいとは言えないこじんまりとした部屋で開式しました。私は卒業生代表で挨拶をしたのですが、涙で何を言っているのかわからないくらいだったと思います。本当に嬉しかった。涙が出て話せなくなるくらい本当に嬉しかった。たぶん、その場にいた先生方やご

両親，同級生に対して私の気持ちは伝わったと信じています。皆もこれまであったことを思い出しながら泣いていた。私の母親も不和な状況が続いている父親も涙した。式自体は1時間もかからずに終わってしまったけれど，その時間はその場にいた一人ひとりの想いが密にあった。10年以上経ちましたが，あのときの雰囲気などは忘れられないです。

無事に卒業式が終わり，最後の挨拶を終えてから仲良し組で集まり第2の卒業式がスタートです。校長先生やぶつかり合った先生，仲良しだった先生などと職員室で話します。嬉しかったことは，ぶつかり合った先生と思い出を話し合っていたら泣き出し始めたこと。きっと先生は，私は手のかかる生徒だったのかもしれませんが。泣いて泣いて泣く。そんな素敵な卒業式でした。

最終稿へつづく